



京都の魅力を守り、  
誰もが暮らしやすいまちへ



令和5年  
(2023年)  
4月  
1日  
第972号

# 市民しんぶん

- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、掲載内容は変更になる場合があります。
- 掲載記事・施設の情報は、HPでも閲覧できます。
- 5月号から紙面を開く向きが変わります。

4月1日から新型コロナウイルス接種コールセンターの☎・FAXが変わります

接種証明書など	接種予約など
☎ 365 050 FAX 771 4	☎ 365 050 FAX 442 4
☎ 306 641 30	☎ 309 364 88

京都市・府議会議員選挙  
4月9日7～20時

※一部で閉鎖時刻を繰り上げる投票所があります。  
期日前投票は4月8日20時まで。

問合せ 選挙管理委員会 ☎222-3589 FAX241-9230

# 誰一人取り残さない 取り組みを推進

令和5年度予算

※金額は概算

問合せ 財政室 ☎222・32888 FAX222・32883

先月号では、令和5年度予算のポイントなどについてお伝えしました。今月号は、具体的な取り組みを紹介いたします。



## 若い世代・子育て世代が住みやすいまちづくり

### ▼子ども医療費支給制度の拡充

26億1千792万円(全体系事業費)

子育て世帯の経済的な負担を軽減し、安心して子育てができるよう、5年9月診療分から、3歳から小学生までの通院医療費の自己負担額を大幅に引き下げ。また、拡充に伴い、医療費の払い戻しに係る手続きが不要に。

入院	0〜2歳	3歳〜未就学児	小学生	中学生
通院	1医療機関 月200円	月1千500円 ←	1医療機関 月200円	月1千500円

問合せ 子ども家庭支援課分室

☎251・11223、FAX251・11322

### ▼全員制中学校給食実施に係る調査

2千万円

子どもたちの健やかな成長と子育て世帯を支援するため、PTAの代表などと連携しつつ、全員制中学校給食実施に向けた調査を実施。

#### 主な調査項目

- 学校施設や給食時間など、学校運営との関係
- 給食実施方式<sup>※</sup>(事業費やスケジュールなどの比較検討)
- ③ 自校に給食室を整備する自校調理方式や近隣の小学校で調理して配送する親子調理方式、給食センター方式、民間調理場を活用したデリバリー方式など



問合せ 体育健康教育室

☎708・53233、FAX551・95500

### ▼市独自の保育料軽減を継続

16億円

同時利用2人目の保育料を国基準の半額以下に軽減するなど、軽減措置を継続。

### ▼民間保育園などの老朽化対策

3千万円

市の耐震化計画などに基づき、耐震化率100%を達成している民間保育園などについて、今後施設が老朽化していくことを踏まえ、老朽度を把握するための調査を実施。



問合せ 幼保総合支援室

☎251・23990、FAX251・29500

### ▼子どもたちと文化芸術との出会いの促進

2千990万円

子どもたちが、文化芸術の楽しさや魅力に気づくきっかけづくりとして、文化芸術に触れる機会を創出。また、興味・関心に応じた分かりやすいHPを開発。

### ▼若手芸術家の移住定住を促進

3千672万円

若手芸術家が住みやすく、活動しやすい環境づくりを推進するため、芸術家に適した物件の紹介や、創作活動のための一時滞在・お試し居住を本格的な移住につなげる相談機能を充実。

問合せ 文化芸術企画課

☎222・31199、FAX213・31811

### ▼移住定住促進のための情報発信の強化

1千650万円

京都で働き暮らす魅力を伝える動画の発信や移住を検討する方へのオンライン相談会などを実施。

問合せ SDCS・市民協働推進担当

☎222・39978、FAX212・29002

### ▼既存住宅の活用・流通の促進

3千万円

若い世代の住む場所を創出するため、市場に流通していない空き家の所有者に対する情報発信や郊外エリアにおける既存住宅の活用策の検討などを実施。

問合せ 住宅政策課 ☎222・36677、FAX222・35226

### ▼市内企業の拡大支援・市外企業の誘致

6億2千96万円

京都経済の活性化や働く場の創出のため、市内企業の事業拡大や市外企業の市内への進出に伴い、オフィスや工場などを新設・増設する場合に補助金を交付。また、ビジネス都市としての京都の魅力を発信。

問合せ 企業誘致推進室 ☎222・42399、FAX222・33331

#### 他にもこんな取り組みを推進

### ▼学生の市内就職を促進するインターシッパへの支援

1千万円

### ▼マンガやアニメなどの若手クリエイターへの支援

1千160万円 など

結婚・子育て世代や就職期を迎える世代の市外への転出を抑制するとともに、市外からの移住を促進するため、都市計画の見直しなどにも取り組みます。



### 市民生活・ 京都経済の支え

#### ▼コロナ・物価高騰対策

1千721億円

- 政令市平均の約1.5倍の保健師の配置を維持（4年度は政令市トップ）
- 学校給食や福祉・子育て施設などの食料費高騰に対する支援
- ゼロゼロ融資（無利子・無保証料の融資）などを利用した事業者への資金繰り支援
- 中小企業のための相談窓口の体制強化
- 中小企業や商店街などのデジタル化の支援
- 公共交通機関の運行維持への支援



#### ▼国民健康保険料率の据え置き

86億円

高齢化の進展などによる医療費の増加に伴い、運営を行う京都府への納付金が増加。制度上、増加分は保険料で賄うのが原則だが、被保険者の負担を軽減するため、市の独自財源などを活用し、保険料率を据え置き。

国民健康保険は、医療費などを国・府の補助金で5割、残り5割を保険料で賄っています。市では、ここに税金を投入し、一人当たりの保険料の引き上げを抑制しています。



### 多様性を尊重し、 誰一人取り残さない まちづくり

#### ▼ヤングケアラー<sup>※</sup>への支援

1千270万円



周囲の大人がヤングケアラーにいち早く気づき、適切な支援につなげられるよう、支援機関向けの研修会などを実施。また、ヤングケアラーの負担軽減や対象世帯の要望などを把握するため、訪問支援を試行的に実施。

※本来大人が担う家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども

#### ▼子ども家庭支援課

☎746・7625、FAX251・1133

#### ▼高齢者インフルエンザ

予防接種の充実 1億1千363万円

75歳以上は、65～74歳に比べてインフルエンザの重症化率が約5倍も高いことから、接種の促進を目的に予防接種の自己負担額を引き下げ。

	75歳以上	65～74歳	生活保護等受給者
5年度	1千円	1千500円	無料
4年度	1千500円	1千500円	無料

#### ▼医療衛生企画課

☎222・4421、FAX222・4062

#### ▼他にもこんな取り組みを推進

#### ▼医療的ケア児への支援体制の強化

2億6千523万円

#### ▼敬老バス回数券の新設等

9億326万円 など

### いのちと暮らしを守る 安心安全のまちづくり

#### ▼消防指令センターの共同運用に向けた設計

4千50万円



多様化する災害に的確に対応するため、市と府南部地域（8消防本部）と共に消防指令センターの共同運用に向け、消防指令システムやデジタル無線などの設計を実施。

#### ▼消防局総務課

☎231・5311、FAX251・0062

### 全国のモデルとなる 環境先進都市の推進

#### ▼脱炭素社会の実現に向けた支援

3億2千680万円

2050年CO<sub>2</sub>排出量正味ゼロに向けて、まず2030年までにゼロを目指す地域として国から選定を受けた脱炭素先行地域において、寺社等の文化遺産や商店街、住宅、大学などの脱炭素化を支援。太陽光発電設備や蓄電池の設置、省エネ機器への切り替えなどへの補助を実施。

#### ▼地球温暖化対策室

☎222・4555、FAX211・9286

#### ▼他にもこんな取り組みを推進

#### ▼プラスチック類の分別回収の実施

5億3千530万円

#### ▼府市協働による生物多様性センターの設置

600万円 など

### 持続可能な京都観光の推進

#### ▼交通混雑の改善に向けた情報発信

4千130万円

京都駅一極集中を緩和するためのJR山科駅や地下鉄などを活用した推奨ルートを発信、また、自動車の流入を抑制するためのパークアンドライド<sup>※</sup>を促す情報発信を充実。これには、観光の経済効果を市内全域に広げる効果も。

※自家用車を混雑する観光地から離れた駅周辺の駐車場に止め、電車やバスで目的地に向かうこと

#### ▼歩くまち京都推進室

☎222・3483、FAX213・1064

#### 利用者の9割が観光客 バス1日乗車券の廃止

市バス混雑の一因である1日乗車券を6年3月末で廃止（販売は5年9月末まで）。一方で、地下鉄・バス1日券の販売を進め、地下鉄の利用や移動経路の分散を促進。

#### ▼交通局企画調査課

☎863・5022、FAX863・5069

#### ▼安心・安全な京都観光のための 情報発信

1千240万円

観光地の混雑対策として、混雑状況が一目で分かる京都観光快適度マップを充実。外国人観光客に関するデータを活用した混雑予測の精度向上や、混雑が予想される行事等の混雑状況のライブ配信などを実施。

#### ▼観光MICE推進室

☎746・2255、FAX213・2021

この他、さまざまな取り組みを実施。もっと詳しく知りたい方はHPをご覧ください。

